

CONCEPT FOR
THE P.O.W. LOGO IS
THAT P.O.W. STANDS FOR
'PRISONER OF WAR' AS WELL AS
'PUNK ON WAVE'. PRISONERS HAVE ONLY
HAND-MADE TOOLS TO USE FOR WRITING
SO IT'S MADE TO LOOK ROUGH
IN PRISON.



PHOTO AND LOGO
DESIGNED BY JOHN DUNCAN

PUNK ON WAVE

may – june 1985 vol.1 no.1 「パウ」
we stand for the potential of warning

PSYCHIC TV

The First Number

サイキック TV インタビュー
AA RECORDS徹底解剖
MDC-PEACE COMPILATION



石垣章写真集・ザ・スターリン 1980〜1985

［83年5月2日後楽園ホール］

スターリンの初期ライブから、
2月21日の解散ライブまで、二百ページの迫力!!
スターリン、全コンサート、バイオグラフィー、
遠藤みちろうのメッセージ収録!!
世界初のオリジナル・モノクロ・ネガフィルム付写真集!!

この本には、石垣章指揮のもと、8名のカメラマンによってスタジオ撮影された、本物のモノクロ・ネガフィルム7,000枚が一点ずつ、そえられています。完全なオリジナルですので、同一のものはありません。なお、フィルムの交換はできませんので、御了承下さい。

•予約開始•
定価2000円
［オリジナル・モノクロ・フィルム付］
5月10日発売!! 現定7000部

宝島カセット・ブックNEWS

「THE PUNX」

ストリート・ムーヴメント
2500円

★重版出来
（初回リリースは即日完売となり、大変御迷惑をおかけしました）
★収録バンド ラフィン・ノーズ、GAS、GISM、ウィラード、リップ・クリーム、コブラ 全12曲
★ブックレット 全バンド、ライブ・フォト、オリジナルイラスト、インディーズの歴史、名盤ディスコグラフィーつき



御注文は、
もよりの本屋からできます。

確実に手に入れるためには、定価＋送料200円を現金書留で〒102 千代田区麹町5-5-5「宝島 通販係」まで、注文品名をお忘れずに書きそえて下さい。約10日でお手元に届きます。

好評発売中!!

「ベトナム伝説」遠藤みちろう 2700円

『仰げば尊し』『われた鏡のなかから』(ジャックス)、『ハロー・アイ・ラブ・ユー』(ドアーズ)などを収録した、カセット・ブック界最大のベスト・セラー。』

「SCUBA」P-MODEL 2700円

平沢進の新実験。各誌絶賛のP-MODELの最高傑作。ブック＋カセットのトータル・コンセプト。

発売決定・通販予約開始

5月25日発売

「どてらい奴ら」町田町蔵 2700円

「イヌ」でもはや伝説的になった町蔵。
4年ぶりの新作は、「至福団プロジェクト」による新組曲。
山崎春美編集のブック・レット、特製バッチ付。

JICC出版局 東京都千代田区麹町5-5-5 TEL.03(234)4621

THE DECLARATION P.O.W.

Through our magazine "Punk On Wave" we would like to distribute all of the expressive forms catagorised under the name of "Punk".
"The expressive form of Punk" is a form of expression that can not be blocked by any bareer, it is an expression fall of originallity with freedom allowing each of us to say and do what we want. And that freedom allows us to express our own values and beleifs.
So far in our country we were unable to find a media that, through it, we can express our beliefs in a free tone. In Japan, we don't have a magazine that relates to this catagorisation we were just talking about.
We are not critics, we are actually part of the punk and Indy scene to express the ideas that we have with in our "Personallities" is what we think our new medias existance is for. Though such a media made for expressionees of our type, we would like to declare a distribution and a rise of our kind of expressionees: not only in Japan but through out the world.
Asking for cooperation and support.
Power Over the World!!

P. O. W. 85'

我々はこの雑誌"Punk On Wave"を通し
と呼ばれる現象のもつ、あらゆる表現形
示することを目的とするものである。
は、個人の何ものにも束縛されない
度であり、又その態度に裏づけられた
主義、主張の表明である。
我々は今迄に、少なくとも日本に於て
委ねることのできる有効な活字メディア
できずにいた。日本に於ては、その
で信頼できる既成の商業音楽雑誌は皆
我々は職業音楽評論家ではなく、"パン
ーズ"の現場で活動している当事者であ
つそれらの性格は、この雑誌を規定する
なポイントであると考えている。
"当事者による表現者の為の雑誌"、
を通してこれからも広く日本のみならず
きる海外のバンドとの接触を呼びかけ
々の協力を要請する。Power Over the
P

CONTACT TO:
PUNK ON WAVE(P.O.W.)
YAZIMA BUILDING NO. 205, KAMI-MEGURO,
1-20-8, MEGURO-KU, TOKYO, JAPAN

This magazine is an attack. It's not SAKEVI's first. He attacked audiences with his vocals in GISM. He attacked staring salarimen on a Tokyo commuter train by showering them with hairspray set on fire with a cigarette lighter. He attacked the manager of a rental video shop and spent two months in concrete.

This magazine is a report of works and events that confront lies, that criticize hypocrisy, that show you to yourself.
It's SAKEVI's new strategy: this time you pay for it.

John Duncan
Tokyo


John Duncan

[LAUGHIN' NOSE]

PHOTO SINOBU KAYABA

MANTOHi Hi

9/10

ラフィン・ノーズ

LIVE

+

DISCHARGE

未発表LIVE TAPE

(633) 2791 ↑TeL

MANTo

HiHi

GET MEDIA

GET POLITICS

GET OLD ONE'S

1st EP!!

12 198

ついに日本上陸！ユーズブリゲード

ベター ユーズ オーガニゼイションからのプレゼント



ならなおさら）とにかく理屈をこねるのが好きな人種の様だ。あんな広大な土地に住み、思想もさぞかしアッケラカンとしているのだろう、と思いきや、おっとどっこい！　一度自分で信念を持ったものならかたくななまでにそれを曲げようとはしない。たとえばテレビのブラウン管にレーガンが映ったとしよう。（深夜にやっているCNNでだ）彼らは夜も更けていることなどおかまいなしに、「ファックオフ!!」「アスホール!!」とどなりちらす。とりあえずネズミも起き出す程のデカイ声でだ。自分の信念の前には近所迷惑などまったく頭にないようである。それと彼らの最も憎むべきものの一つにエクスプロイティドの存在があげられる。彼等アメリカンパンクスはエクスプロイティドが大嫌いなのだ。（ちなみに僕の友人のほとんどが僕のエクスプロイティド好きかい？　の質問にNO！と答えた）嫌いな訳をきいたのだがごていねいにも、かなり感情のこもったスラングで延々とまくしたててくれたものだから、今いち不明確なのだ。しかしようするに、SEX & Violence の思想が気に入らないらしい。僕の友人のJなどは（日本人である）パンクのギグ（もちろん日本）でアメリカ人と思われる外人（こういう表現は失礼なのだが）に話しかけられ、かなりしつこく質問を繰り返されたそうだ。その時彼は運悪くも、クラスとエクスプロイティドのバッチを皮ジャ

も彼らのかたくなな信念がうかがえるだろう。

本題に入る。僕は正直な所、デッドケネディーズ、全盛期のブラックフラッグ（かたくななアメリカンパンクスの間では今でも全盛なのかもしれないが）以後のアメリカンハードコアはあまり好きになれなかった。というよりも興味をそそられるバンドが見あたらなかったのだ。クルシフィクスがアルバムを発表した時などクラス傘下のクープスクライシスからのリリースで、おまけにボーカリストはどこから見ても日系人に見える。こりゃ久しぶりのヒットか？　と胸をわくわくさせて針を落としたのだが、一曲めが終わるのと落たんの気持ちがおとずれるのはほとんど同時だったように記憶している。相変わらずのハイスピードにどなりちらすだけのボーカル。かなり強いメッセージは持っているようだが、それ以前の問題である。おもしろくなかった。しかしあいうサウンドが好きな人もいるだろう。これはあくまでも僕の感想にしかすぎないという事をつけ加えておく。一年程前になるが僕は一枚のレコードを手に入れた。サウンド＆フューリーと題されたそのアルバムを聴いた瞬間ボクはかなりの衝撃を受けた。ハードコア（文章の流れから見ても当然アメリカンハードコア）なのだが、なんと形容した物だろう？　ポップでソウルフルで、ブルージーなのだ。加えてラップみたいな事をやってたりするくせ物である。そのくせ物バンド。名をユースブリゲードという。最近迄そのレコードはただのお気に入りの一枚でしかなかったのだが、先日AAレコードを主催するチャーミー氏と久しぶりに会って酒を飲んだ。そこで僕は彼から驚くべき事実をきかされたのだ。なんとユースブリゲードがAAレコードからリリースされるというではないか！　まったくもってホームランである！　ヒットどころの騒ぎではない！　なぜユースブリゲードが日本の、しかもインディーレーベルのAAからリリースされる事になったか？　についてはここでは省略したいと思う。今はユースブリゲードというバンドを、不幸かな今の今まで知らなかった人々の為に彼らの紹介のみに専念しよう。ユースブリゲード。まずメンバーから紹介しよう。ギターボーカルにショーン、ベースのアダム。そしてドラムのマークの3人組である。彼らは、ユースブリゲードと同時にベターユースオーガニゼイションというレーベルの主催者でもある。ベターユーズオーガニゼイション（しばしば彼らはBYOという略名を使用している）からは既に8枚（4枚のLPを含む）のレコードがリリースされており、どれもまずまずといったセールスを記録しているようだ。ユースブリゲードに話をもどすことにしよう。彼らの1stアルバムは一九八三年四月、トムウィルソン（彼は日本でこそ知られていないが本国アメリカでは名うてのプロデューサーとして信頼されているらしい。むろんインディーズ内でだが）のプロデュースによってつくりあげられた。前述の僕の持っているレコードがこれだ。A面ではとびきり生きのいい（しかも味がある！）ハードコアを聴かせてくれる。A面1曲めに収め



られている、「シンクウイズカルフォルニア」はAAからリリースされるシングルの片面に収められるそうだ。僕も個人的にこの曲が一番好きである。B面に行くとハードコアサウンドにまじってラップ（カーティスブロウなどがよくやる“あれ”だ）を冗談でしてるのかマジなのか、ともかくプレイしている。しかし、まんざら冗談でもないのかもしれない。なぜかというと本文の頭にも出てきた理屈っぽい僕のアメリカの友人達は皆、カセットケースの中に、こっそりディスコミュージックや、ラップミュージックのテープを忍ばせていたし、パンクスのほとんどは、スケートボードの名手である、という事実さえある。（現にアメリカにはハードコアパンクスとスケートボードの話題を半分ずつとりあげている「スラッシャー」というファンジンまである）しかしはじめてのソロLPでこれだけ完成しているのには今さらながら驚いた。1stLP発売後も彼らは何枚かのオムニバス盤に顔を出している。サムシングトゥビリーヴインやサムワンゴッドゼアヘッドなどがそうである。サムワンーは正確にはアルバム発表前であるがそう時間的経過は感じられない。一九八四年七月になると待望の1stEPがリリースされる。ホワットプライスハッピネス、ウェアアーウィゴーイング、フーキャンユービリーヴインの3曲が収められたこのEPは初回限定盤に限りレッドカラーレコードである。アルバムに比べサウンド形態がやや異ってきた様に思うが、力強いベースラインにのってのかなりブルージーな展開である。僕は好きだが、この一枚はきっと評価が割れたのではないか？　ちなみに「フーキャンユービリーヴイン」もAAからのシングルに収められる。日本のリスナーの反応が楽しみである。現実の所、今のアメリカンハードコアシーンはというと、デッドケネディーズ、ブラックフラッグ、MDC等の大御所は別としても、サークルジャークス、ミスフィッツ（最近解散した）と並んでユースブリゲードの人気がかなり高いようである。彼らを支持するパンクスのなんと多い事か！　全面ポリティカルな他のバンドに比べて、わりと日常性のからんだ歌詞が人気の要因かもしれない。日本ツアーも計画中らしいので、もしかすれば年内には彼らのライヴに遭遇できるかもしれない。AAからのシングルもこの号が出ているころにはすでに出まわっているかもしれない。とりあえずは彼等のスピリッツと一早く溶けあうことを強くお推めする。

淋しいパンク

蛭子能収





パンクを
バカにする
奴は
死刑だ

あなた達
ロックでも
ない事
しないでよ

Before it happens here

LAUGHIN NOSE

1ST EP

特殊ジャケット使用

9.25 全国同時発売!!

(LIVE & STUDIO TAKE) ¥100

8曲収録予定。

charmy

DEATH:

WHY

RECORDS

GHIN' NOSE &

pon

お知らせ

日本のハード・コア・パンク

オムニバス・アルバム 近日発売





AA RECORDS 徹底解剖

かというと、ます…貫した…
かの様に見せかけてはいるが、実は、そんなことどうでもいいや！的あいまいさがある。と同時に、パンクというカテゴリーに縛られる事なく、むしろそれを逆手に取ってパンク以上にパンクな存在となっている。

AAレコードという存在を文章で総括するという行為は、ほとんど不可能な事である。AAからリリースされたレコードをレビューするのとはまったく訳が違うのだ。最近よくいろんな雑誌で見かけるのに、「昨年はAA躍進の年だった。」というたぐいの内容で、さもAAの全てを把握しているが如く書いている人がいるのには驚いてしまう。本当にわかっているのかい？わかっているのなら、なぜ過去形にするのだろう。明日の事などわからない。わかるはずないのである。しかし一つだけいえる事は、パンクはブームだけで片づくものではないという事なのだ。もしもパンクがブームであるならば、ピストルズの解散と同時に、仮に10歩下がったとして、ディスチャージの解散と同時に、パンクは終わってしまっていたはずである。それと同じ様な事を嗅覚が鋭いと自負する私は、AAレコードから感じている今日この頃である。

今、彼らに対して多くの言葉は不用なのだ。我々は彼等の軌跡を辿っていくしかないのではないか？

無理に受け入れる必要は無いと思う。（何事もそうなのだが）しかし、はなっから拒否していたのでは何も生まれてこない。今後も島国独特のこだわりが、貴方の行動を制限するだろう。思考をも制限するだろう。AAというスリリングなレーベルは、そんな君の起爆剤なのだ。

「チャーミー」ラフィーノーズ

非日常的パンクのエッセンスを、ぶち込んでやる！

INTERVIEW

そんな曲書けってんなら
一日十曲ぐらい
寝てても書けるぜ(笑)

—まずはじめにAAレコードを始めたきっかけを教えてくれる？

チャーミー（以下チャ）……忘れた。たいした理由なんて無かったんじゃない(笑)

—チャーミーにとってのパンクってどういったものですか？

チャ　サバイバルだ。俺は生き残る為にパンクを選んだんだ。

—生き残る為とは？　具体的に……？

チャ　追求しないでくれ！　ボロが出る(笑)

—最近のラフィーノーズはかなりポップになったと思うんですが、以前からこういった形の展開は考えていたんですか？

チャ　俺達はその辺のファッションパンクんてほんと一握りだと思うけどネ。奴等に期待する方がま違ってるのかもしれない。しかし、やりもしないで、なんの働きかけもしないで、ほったらかしにしておくのはどうかと思うぜ。俺達みたいな考え方をする奴がもっと増えれば、すなわち世界平和のとっかかりぐっいにはなると思う。いつかはね。

この三つは
俺にとって
全て一様に
深刻な問題なんだ。



—ここまで話をきいてきて、ラフィーノーズはかなり政治的なバンドの様に思えるんですが？

チャ　政治には少なからず興味があるが、そう言い切ってしまうのには少し問題があるね。政治、戦争問題を含めてそれは俺達のメッセージの一端であってそれがすべてじゃないってことさ。ｓｅｘとか、暴力問題にしたってそうなんだけど。この三つは俺にとって全て一様に深刻な問題なんだ。この三つが解決しない限り、俺は幸せになれないし、バンドもやめる訳にはいかないのさ(笑)

—パンク以外で好きなバンドはありますか？

チャ　フランキーゴーズツゥハリウッ

スとは全然違う。わかるかい？　俺達には明確なメッセージがあるんだ。ファッションだけでパンクをプレイするのは簡単な事だ。ノイジーでくそ重たいサウンドと速いビート。そして政治的な歌詞をつけてりゃいいだけさ。そんな曲かけってんなら一日十曲ぐらい寝てても書けるぜ(笑)しかし誤解しないで欲しいのは。こういう言いかたしてるけど、否定している訳じゃないんだ。そういうノイズパンクをさ。俺が言いたいのは、他と違った方法で俺達のメッセージを表現して何がわるいんだ！　ってこと。ま、頭がかたすぎて先の見えない馬鹿にゃ一生理解できないだろうけどね(笑)今のサウンドを裏付けている俺の考え方をききたくないかい？

—その辺のことを皆知りたがってると思うんです。是非きかせて下さい。

チャー　OK！　確かにこれが今回のインタビューの一番の核心になるだろうね(笑)実際問題として皆一様に問題意識をかかえているはずなんだ。パンクスに限らずね。

—パンクスに限らずですか……？

チャ　そう、パンクスはもう充分に問題を理解してるのさ。一部のエアヘッドパンクスを除いてね。(笑)（エアヘッドパンクスとは、頭のカラッポなパンクスの事だそうだ）パンクスだけを対象にメッセージを提示した所で何の解決にもならないと思うんだ。問題意識は少なからず持っているが、それを表現できない、いろんな状況でね。そういった連中にも表現する場を作ってやりたいと思っている。日常という名ばかりの平和に完全に頭ん中を支配されているホワイトカラーの連中や、見せかけだけのニューウェイブ野郎達。奴等の日常に、奴等にとっては非日常的ともいえる(笑)パンクのエッセンスをブチ込んでやりたいんだ。

—そういった人たちは、はなからパンクロックには近づこうとしていないと……？

チャ　そうさ。もうすでに戦いは始まっているのにネ。奴等にゃそれが理解できていないのさ。ま、もっとも今の日本。この状況下で問題に気づいている人間な

―フランキーですか？
チャ　ウン！
―どうして？
チャ　まずサウンドが良いね。くせのあるpopでさ。そして何よりも奴等はポリティカルなバンドだしね。そんだけの理由だけど、毎日聴いてるよ(笑)こないだTVで奴等のインタビューやってたけど、Relax も Two Tribes もBBCで放送禁止になってるんだ。イギリスもかなりヤバイゼ！　でもそういった作品に限って、大ヒットするんだよね。いかに世界がいま、フランキーの場合イギリスだけだけど、今んとこ、いかに世界が政府の逆いってるかって事が良くわかって安心したよ(笑)



なんてったって Abrasive Wheels! 最高だね。

―他には？
チャ　今はこれといってないね。他には
―パンク系では？
チャ　沢山あるよ！(笑)まずなんてったって Abrasive Wheels の Sonic Omen 最高だね。去年最も影響をうけたバンドだよ。それにアディクツやアメリカじゃミスフィッツ。もう解散したらしいけどね。解散直前はポジっぽくなっちゃってたのむぜ！″って感じ(笑)だっ

クスは個人的に好きじゃなかったけど、でもGood なバンドだったよ。ウン、それとユーズブリゲードとか。
―ユーズブリゲードってこんどAAから出るんでしょ？　どこのバンドなんですか？
チャ　アメリカ！　ロスのバンドだよ。Byo Better Youth Organization っていうレーベルも持ってるんだけどね。アメリカじゃもうトップクラスのハードコアバンドだぜ。
―国外のハードコアバンドが日本のインディーレーベルから紹介されるという事で驚いているんだけど、今回のユーズブリゲードの話は、むこうから言ってきたの？
チャ　違う、こっちから働きかけたんだ。アメリカのハードコアファンジンにマキシマムロックンロールっていうのがあるんだけど、そこに何人か友人がいてね、かなり沢山！　アメリカンハードコアのレコードを買ったんだ。その中にユーズブリゲードのレコードがあったって訳、一通り全部聴いたんだけど、ユーズブリゲードのLPが、中でも一番良くってね。こんなイイバンド日本で紹介しない手はない！　と思ってさ(笑)コンタクトはすぐとれたよ。向うもやっぱり日本には興味あるらしくて、二つ返事でOKが出て、二週間でマスターテープ送ってきたよ。AAの新しい展開になる事はまずま違い

評価は後からついてくるしね。

―ハードコア不法集会で、日本で初めてハードコアコンピレーションアルバムを作ったことといい、日本初が続きますね！(笑)
チャ　日本初とかそういうのはまるで意識してないよ。ただインディーレーベルをやっていく上で、誰かがやらねばならなかった事を、たまたま俺が最初にやっただけでさ。評価は後からついてくるしね。日本初だろうが、二番せんじだろうが、リスナーが良いといえば良いし、意味ないっていわれりゃそれまでだしね。
―今後も外国のバンドはどんどん手掛けていくの？
チャ　そのつもりだ。同じような形での単独EP、LPも考えているし、すでに名前のあがっているバンドもある。それよりハードコア不法集会のVOL2はおもしろいぜ。
―またなんかするの？
チャ　今回の不法集会はプレスこそまだだが、もう実行の段階。秒読みに入ってるんだ。日本、アメリカ、イギリス、ドイツとかなり国際的なオムニバスになる事はま違いないだろう。ドイツ、アメリカからはもうテープも送ってきてるしね。

―どんなバンドが入るの？
チャ　今は言えないが、皆知ってる様なバンドが、二つ三つはあるはずだヨ。ま、楽しみにしててくれ。

客全員退場させられちゃうんじゃない？(笑)

―話は変わりますが、チャーミーの嫌いとするポジティヴパンクについて……
チャ　おっと！　ついに出たか(笑)
―嫌いなんでしょ？
チャ　まったくもって奴等ほどなんとかして欲しいもんないね。全部じゃないけどさ。
―好きなポジパン系のバンドもあるんですか？
チャ　レコードだけで判断していたエイリアン、知ってこの通り攻撃もしてたんだけど、LIVEを見て見なおしたね。もっと糞みたいなバンドとか思ってたんだヨ。マジな話。日本のポジ系バンドのLIVEなんかたまに見たくなくても見ちゃうことあるじゃない。(笑)はっきり言って逆立ちしたって好きになれないんだよね(笑)俺の場合。エイリアンもそうだと思ってたんだけど、奴等LIVE見る限りではカッコ良かったぜ。オーディエンスに多少のむかつきはおぼえたけどね。それとこの間のギグは企画にかなり問題があったと思う！
―問題が？
チャ　そう、俺、ギズムの横山と一緒に見に行ったんだけど、良いギグだったりすると自然に体が反応する訳よ。で二人でチキンダンス踊ってたら、あらっぽすぎるとか言われて退場を命ずるって感じでさ。実際あんときゃ頭きても、別にケンカしてる訳でもなけりゃ、物壊す訳でもないのにさ。何がパンクだ！　とか思ったぜ！　ああいうのを管理パンクっていうんだヨ、カンリパンク!!
―ヒドイ話ですね。
チャ　全くだよ、しまいには、客全員退場させられちまうんじゃない？(笑)なんとかしてほしいね。
―AAから出てる以外に好きな日本のパンクバンドはある？
チャ　ウイラードなんか好きだね。GIGも見に行ったりするよ。中でもスティンキーパイヌは特に気にいってる。ダムドみたいでカッコイイじゃん(笑)
―今日はほんとうにどうもありがとう。最後にPOWの読者にメッセージありましたらおねがいします。
チャ　マルがアブラダコやめてラフィーノーズに入ったのは皆知ってると思うけど、そういうことですんで、応援して下さい。ポンとナオキもよろしく(笑)又会おう！



「コブラ」ヨースコウ

84年から、今年85年にかけて、関西のパンクシーンはあきらかに大都市東京とは違った盛り上がりを見せている。84年9月にAAレコードよりリリースされた「ハードコア不法集会」はすでに6千枚という、日本のインディーズではほとんど革命的ともいえるセールスを記録している。無論、85年になってもその勢いはとどまるところを知らない。

俺自身、Oiとパンクのこだわりは、まったく持ってないんだ!!

つい最近行なわれた大阪キャンディーホールでのギグ（ラフィーノーズ、リップクリーム、キャー、フリーダム、そしてコブラ）では、60人以上もの動員があり、入数制限の為、100余名もの人間が入れずにいたという事実さえある。今回の編集部は、その関西パンクシーンの中[illegible]いて一際異彩を放つOiバンド、コブラの中心人物、ベースボーカルのヨースコウにスポットを当ててみた。2月某日、大阪AAレコードのオフィスにおいて、POWは「ラフィーノーズ」の協力の基、インタビューは敢行された!!

POW 今、一般にコブラはOiバンドという呼び方をされていると思うけど、どう?

ヨースコウ（以下ヨー） [illegible]

立てたんだ。でも心配な事は、[illegible]この先、シッカリと。[illegible]レッテルが貼られて[illegible]な場合[illegible]その時はパンクとOi[illegible]分けられてしまう[illegible]事、具体的にいえば「コブラは[illegible]の連中だけのもので、一般の[illegible]モヒカンの奴とかが[illegible]俺達[illegible]違う、っていう意識を持[illegible]なんだ。日本のパン[illegible]そして音楽が好きで[illegible]ファッション[illegible]自分達自身を縛りつけて[illegible]思うんだ。困った問題[illegible]実なんだから。俺自身、Oiとパンクのこだわりは、まったく持ってないんだ。それについての危機感さえ感じてるよ。

POW つまりジャンル分けしてほしくないっていうこと?

ヨー 俺達が好きな音出して、それを聴いた奴が勝手にジャンル分けするのは仕方ない事さ。それについてどうなのか?ときかれても俺には答えられないんだ。昔は確かに、こだわってたのかもしれないけど、今そういう気持ちは全然ないしね。

POW コブラのやってるサウンドって、スキンヘッズのサウンドなの? いわゆる4ースキンズとかビジネスとか……?

ヨー あいつらと俺達とでは全然違うんだ。あいつら昔から一つの考えを持って[illegible]やってきてるだろう? 一つの信念を持って[illegible]ると思うんだ。俺達の[illegible]歴史を知らない訳だし、単純に[illegible]る行為に影響されたって[illegible]とね。しかしそれだけが[illegible]。俺達はスキンに影[illegible]バンドだって[illegible]るしね。

POW [illegible]転換期があったでしょう? ハードコアバンドとしてのコブラから、こういう表現は今となっては嫌かもしれないけど（笑）Oiバンドとしてのコブラっていう。そのきっかけってなんだったの?

ヨー 最初は誰しもパンクやってる連中って外国からの影響があったと思うんだ。ピストルズやクラッシュとか……。俺もそうだったんだけど。その俺の音楽性を変えたのは、やっぱりOiバンドだったよ。

POW 具体的に……?

ヨー 例えばエンジェリックアップスターズ、ビジネスとかコックニーリジェクツとかね。けっこう影響うけたよ。でも昔はもっと感動できたアーチストいたんだけどね。最近はそれほど感動しなくなった（笑）。人から影響受けて何かするんじゃなくて自分で創りあげた音楽性が世に許可されるっていうのが本当の理想だね。今の俺達は、まだその過程なんだよ。

俺達の場合その時の気分っていつも違うから。

POW 転換期となった「不法集会」から、2ndEPの「1984」そしてThe Punxに収められた2曲、全部聴いたんだけど、音に一貫性が無いでしょう? それは良い事だと思うんだけど昔から一貫したサウンドでやってるパンクバンドもあるでしょう? その辺はどう思う?

ヨー そういうバンドってやっぱり無理があると思うね。どういうつもりでやってるのかわかんないけど（笑）俺達の場合その時の気分っていつも違うから。その時、その時のレコーディングで持てるだけの力を全部出しきるつもりでやってるよ。後の事なんか全然考えた事ないね。今持ってるアイデアは全てつぎ込みたいしね（笑）。

POW 話は前後するけど、転換期の頃に影響を受けたエンジェリックアップスターズとか、コックニーなんか今はどう思う?

ヨー やっぱりかなり引きずってるよ。もちろんサウンド面だけで奴等の姿勢と

詞に和訳なんかついてないしね。全て英語の歌詞から、あたりまえだけど（笑）メッセージやポリシーを理解しろ、って方が無理な話でさ（笑）。

ただ客がライヴに来て、一緒に唄ってくれりゃそれでいいのさ！

POW　コブラにメッセージってあるの？
ヨー　もちろんあるよ！　今、言葉でメッセージを伝えるのはちょっと難しいけどね（笑）。
POW　WA[illegible]あれなんかはどうなの？
ヨー　確かにあれは戦争反対的な曲なんだけど、俺自身、戦争問題に関して[illegible]とんどピンと来ないんだ[illegible]これは、こんどのアルバムで[illegible]題にメッセージを組み込み[illegible]しね。それより[illegible]達のメッセージング[illegible]
POW　次のアルバムはどんな[illegible]になりそうなの？
ヨー　メジャーから出すとか、マイナーから出すとか、そんな事関係なく、俺達[illegible]しいアルバムにするつもりだしね！
POW　最近、コブラを支持するパンクスがずいぶん増えてきてるけど、彼らをどう思う？
ヨー　俺達はいつだって、そいつらの側にいるんだ！　裏切る様な真似はしないぜ！
POW　もしバンドの成長が結果的に客を裏切る形になったら……？
ヨー　それは音的な部分だけだよ！　それ以外では、バンドがどんなに大きくなろうとも全然変わらないね。金がどうこう云う気もさらさらないしね。ただ客がライヴに来て、一緒に唄ってくれりゃそれでいいのさ！
POW　最近ライヴの取り方に気を使ってるそうだけど
ヨー　同じライヴをやるにしてもヒドイ企画[illegible]ないよ。とにかくバンド[illegible]いいって感じのとかね。ヤン[illegible]ドをキチンと把握していない企画じゃないと、本当！やっても意味ないと思うね。不法集会ギ[illegible]は良いと思うよ。特に東京でやった奴は良かったよ。
POW　[illegible]出したレコードではヨースコウ自身何が一番気に入ってるの？
ヨー　やっぱり1stEPだね。最高にノッテル時の一枚だしね。はっきり云って2ndの頃は気持ちが移ってたと思うよ。こんどのアルバムにも、1stEP

スワールド



POW　それはすごく楽しみですね！　今のコブラは、ほとんど英語で唄ってるんだけど日本語じゃやらないの？
ヨー　こんどのアルバムは、英語と日本語が半々ぐらいの割になると思うよ。やっぱり英語ののりと日本語ののりじゃ違うからね。でも詞も重視している人にも理解してもらう為に、こんどはそれを試みてみたんだ。

でも、もしきたとしたら、別にこだわりなんか持ってないし、条件によってはメジャーから出すかもしれないね。いざとなったらね。自信もあるし！　俺達の音楽を理解してくれた上での事だけどね。
POW　最近の宝島なんかで、普段着でライブステージにたってる。とかよく書かれてるの見るんだけど。意識してる？
ヨー　あれで一応きめてるつもりなんだけど……（笑）
POW　好きな女優なんかいる？（笑）
ヨー　小林麻美（笑）。
POW　あれマダムエドワルダのドラマーのいとこなんだよ（笑）。
POW　好きな食べ物は？
ヨー　おふくろの味！（笑）肉ジャガとか……！
POW　今日は本当にどうもありがとう！　最後に一言、ありきたりのパターンだけど（笑）読者にメッセージを！
ヨー　……パンクっていうのは、最後の逃げ道だと思うんだ。だからパンクスは、それでウマクやんなきゃだめ！　それじゃ

（インタビュー・構成[illegible]）[illegible]お楽しみに！

LAUGHIN' NOSE ALIVE

最近のラフィーノーズって、はっきりいってカッコイイぜ！　熱狂のるつぼと化した吉祥寺バウスシアター。久しぶり、地元大阪での里帰りライヴ!!　見逃しちゃったかわいそうな君に送る！　マルのラフィーノーズライヴレポート!!　はじまり。はじまり！

いやあ、どうも！　私がご紹介に、預かりました日雇ドラマーのMARUでございます。このたび多忙の折ラフィン・ノーズ、ライブレポートを書かせて戴くことになり、大変光栄の限りでございます。

てな訳で二月一日、大阪キャンディ・ホールと先日三月二日、吉祥寺バウス・シアターのギグについてレポートしてまいりましょう。

アズワドが心地良く、流れる中、軽いノリでペンがすべり出したなー。又もや俺のあふれる才能が暴露されちまうぜ。へへへ。

まずマグナムのライブで事故があった、かのキャンディ・ホールのやつから!!　これが、凄かったねー。俺にとってラフィンでの初ステージとなった訳だが、客ー、来たねー。俺なんかの予想じゃまあ、二百は来んだろうなと、見込んでたが、百、上回る三百だぜ。それでもまだ外には、ホールに入りきれない客が百人はいたなあ。事故以来非常に神経質になっていたホール側の要請で結局、入れない客を残したまま、ライブはスタートしてしまった。たまりかねたチャーミーは「今日、ライブせんとこうか、やつらあんまりか

まま、ガラス張りの入口の向こう側で見じろぎもせずに、髪ぶったてて、いつまでも居るのを見ると、なんとも言えん気持ちだった……。

「そうこうしているうちに、オープニングのフリーダムにはじまり、キャー、コブラ、と進行しております。さあ次は大阪2度目、期待のリップ・クリームが始まりました。かと思いきやおーっと知る人ぞ知るパワフル・ドラマー、PILLの場外乱闘です!! 過激と言われている大阪パンクスもさすがに目が点になっております『こーれはどうしたことか!!』」

マジな話、返って（聴こえて）当然のモニターがまったく返らないというミキサー側のトラブルと長旅の疲れからか、怒りが爆発し三曲ほどでステージを下りてしまった。

そういったゴタゴタの中、結局ラフィン・ノーズの登場とあいなった。この日の俺のコスチュームのまた渋いこと！渋いこと！チャーミーとポンの冷たい視線をよそに、スウェットにPILLに借りたワコールのブラック・レオタード、地下タビの、もお、股間モッコリ、セックス・アピール一二〇%。のスポーティーファッション。パンクという既成概念を打ちやぶっとるね！うん。これがまた！。メンバーがステージにスタンバッたとたんに、ゲット・ザ・グローリー・コールが客席から始まり出し文句

カッコ良さに背スジがゾク ゾー！まったく。だが客の乗り ウラハラにたった2度の にシンバル」のボロさには、 まったく。PILLが頭に はないね。客席の方はと 事故以来、オール・スタンディングだったのがイスやらテーブルならべられた状況。そうね新宿のライブイン・ムラサキみてえな悪い意味でオッシャレーな感じよ。だから客なんかイス、テーブルの上に立つやら破壊するわあばれるわで、ちょっと後の方のやつらなんかなんも見えやしねえし。もお最悪！あんな状態なら前のようによけいな物なんか取っぱらっちまえばいいのにな。とまあそんな中で諸々のトラブルや演奏上の不満はあったものの終始盛り上りを見せ、ラフィンアライブは幕を下した。その後、三曲程でステージを下りたリップ、再度気を持ち直して登場。いくらかの客が帰ってしまったもののメンバー、客ともども最高の乗りをしてくれたぜ！青春してたなー。で、気持ちいいリップのライブでキャンディ・ホールのギグは終了したのだった。いやあ疲れたぜ。一服でもすっか！

気分を変えまして、三月二日小雨が降りしきりますここ、吉祥寺バウス・シアターではこの日がラスト・ライブであるマスターベーション、ラフィン・ノーズ、ウィラードという、いかにも、客来ぞー、というそうそうたるメンツでサロン・キティ企画のギグが行われた訳であります。私も一度来たことがあるんですが、元は小汚たねー、ポルノばっかやってた映画館だったんですよね。このバウス・シアター、多目的スペースという感じで小ぎれいに白くペイントされ、かつての面影もありません。ではホールに入ってみましょう。わあーキレイ！なんとなく後楽園ホールをチョット小さくした感じでしょうかね。イスもすべて劇場用でとってもリッチな感じ。また最前列から十列前後の広さがフロア・スペースになっていてダンスなんかもできそう。ライブなどには気のきいた、造りですね。見た感じライティングもPA機材なんかも割りとシッカリしているようです。ただライブ・ハウスなどに比べると使用料が割高の分チャージとかが高くなってしまいそう……。この日のキャパなんですが、またしても凄い！限定五百人を上回る六百人でソールド・アウト。入れなくやむなく帰った人達も大勢いたようです。ごくろうさまでした。ごめんなさいね。

そうこうしているうちに客入れも終わりマスターベーション、ラフィン・ノーズ、ウィラードの順でスタートしました。

しかしまあ、会場が広びろとしてるくせに楽屋が狭いんだわ。これが。八畳ぐれえのプレハブ小屋がいきなりバウスビルの屋上に

お、三バンドも詰めこまれるもんだからスプレーは臭いわ、ポンは、ウィラードのジュンの弁当ひっくりかえすわで、も一落ち着かん。そんな状態で困るうちにラフィン・ノーズ、スタンバイよろしくの声にワサワサと向かう中、急に尿意をもよおしたチャーミーと俺は連れションをしにトイレに駆け込み、ステージへと足を運んだ。

またしてもラフィン・コールで沸きかえる客！ひさびさの緊張が心地良い。いざドラム・セットに向いながら会場を埋めつくすパンクス共のツラをながめると、いやおうにも気持ちがハイになっちまうぜ。思わず客のコールに応じて両手を上げちまう俺。ひさびさに武道館で外タレのライブなんか見ちまったもんだから、もうやめられない、止まらない。ラフィンのギグに来るからには、チャーミーたちだけでなくMARU・コールもするように！わかりましたね。そこのギャル!!

おっーと、横道にそれてしまった。という訳で「行くでー！」とチャーミーの声に応えて一気に客席が盛り上がった所でいつもの様に、俺のドラムからゲット・ザ・グローリーがカッコ良く始まった！と思いきや、タイコのイスが下に落っこっちまってよ、耳が思わず赤くなったぜまったくよー。あーカッコワリ。結局なんとか持ち直して盛り上がったからいいがよー。全体をとおしてやはり前半戦、リハーサル不足からメンバー間のバイブレーションがチグハグしてたものの新旧交えた、ナンバーをバシバシとキメまくり六百人もの客のボルテージも上がりっぱなしの状態におもわずチャーミーは客に「熱いなあー！」という関西弁特有のイントネーションで声をかけ客とコミュニケートをするという。一歩まちがったらクサイ、エンターテイナーぶりを発揮するという一幕も見られた。実際ラフィンならでわっちゅう感じだな。終始はのぼのとした雰囲気の中でのフランキーばりのイントロにとまどう客の反応に快感を感じながらの"ノー・ウォー"は「最高おもろかったなあ」あのバージョンのノー・ウォーは、その内レコード化されるからお楽しみにね。ということでラストチューンの新曲、ゴー・マーチング・インまで全一四曲をこなし、サウナと化した会場（ステージ）で俺たちも客もグロッキーという乗りでラフィンのライブは終了したのだった。いやあかったるかったなあ。

二月一日、大阪でのライブと三月二日、バウス・シアターの両日のライブを終えていえることは、やはりどんな状況においてもプロフェッショナルとしての意識なりプライド、あるいはバンドとしてのボルテージを第3者に常に呈示していかなければならないと痛感する今日このごろ。

わかっちゃいるんだがなかむずかしいんだよね！これが！

T.N.T. SUN.PM5

HARD CORE UNLAWFUL ASSEMBLY!!





AA RECORDS WE ARE BACK!

ON SALE 11/21

LAUGHIN' NOSE

COBRA

LIP CREAM

GAS

COBRA

MAL





isn't picked up when it is shot for printing. Lead pencil lines can be noticeable when printed, so you might rid yourself of your rough pencil lines. It is your choice though because you can get

ON SALE 12/15 •COBRA/INDIE OMNIBUS '82


PUNK ON WAVE